



全国中小企業組合士協会連合会
会長 鈴木 英弘

祝 辞

福島県中小企業組合士会が、創立40周年を迎えられたことを衷心よりお慶び申し上げます。貴会は、昭和56年の設立以来、長きに亘り福島県下の中小企業組合士に対しまして、会員間の交流促進や適時・適切な情報の提供、更には個々の中小企業組合の地位向上に向けた運動に積極的に取り組んで来られました。昭和57年に都道府県中小企業組合士（協）会の上部団体として発足した当連合会に対しても、現在、白木会長に理事を務めて頂き、改めて東北を代表した多くの活動と実績に敬意と感謝を申し上げる次第であります。

中小企業組合士制度は、昭和49年に全国の組合事務局の強化と事務局役職員の資質向上を目的に創設され、今日に至っております。現在、全国で3000名を超える中小企業組合士が、中小企業組合の活性化の為に様々な分野で活躍されており、中小企業組合士制度の振興と発展の為に集った中小企業組合士（協）会も多くの都道府県で設立され、研修や会員間の交流等、多岐に亘る事業活動を展開しております。

わが国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて厳しい状況が続いております。また、世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、課題が山積の状況です。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取り組みが重要で、組合の運営・制度・会計に熟知した中小企業組合士の重要性は、いっそう増している状況であると感じております。

今後、当連合会といたしましては、2年後の創立40周年に向けてブロック間連携の強化をはじめとし、全国の会員の絆をさらに深め、依然厳しい状況に置かれている中小企業とそれらを構成員とする中小企業組合の発展に貢献できるよう邁進していく所存です。福島県中小企業組合士会におかれましても、変わらぬお力添えをいただけますと幸いに存じます。

これからも組合士の資質の向上を目指し、また中小企業組合士制度の普及と中小企業組合士（協）会の発展に向けて尽力することをお誓いし、結びに、福島県中小企業組合士会の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。